



2つの教え

潘 宇 桐
PAN YUTONG

時の経つのはとても早く、私が日本に来て一年が過ぎました。入国当時は毎日が新鮮で新しいことの発見で感動することも多く、反対に実習の面では初めてのことばかりで戸惑いもあり、希望と不安が交差した一年間でした。

この一年間で学んだことで特に印象に残っていることが二つあります。一つは「知ってるつもりはダメ」ということ、もう一つは「報連相が大切」です。入国後の講習で組合の先生が折り紙で「千羽鶴」を折るという授業をしました。「千羽鶴とは何だ？」と私が戸惑っていると周りの友達自分なりの折り方で勝手に折ったり、適当に紙を色々に折ったりしていました。しばらくして先生が困り果てた私たちを見てこんな話をしてくれました。「折り方が分からないのなら正直に分からないと言わなければいけません。今回は折り紙でしたが、これが工場の製品だったら不良品となります。また自己流でやって途中でやめるのも不良品を作ってしまう。不良品はお金を捨てるみたいなものです。」また、分からないまま機械を操作すると怪我をすることもあり、部品や機械は直すことができるが人は治すことができない場合があることも教えられました。

あれから一年、今でも分からないことはたくさんあります。その度に私は指導を受けます。でもリーダーさんは私に新しい仕事を任せてくれます。「なぜ私に新しい仕事を任せてくれる

のですか。」の問いかけにリーダーさんは、「分からないことを分からないと言えるあなたは不良を作らないから。」と言ってくれました。私は「千羽鶴」を思い出しました。「知ってるつもりはダメ」ということですね。大切なことを教えてくれた先生、本当にありがとうございます。

仕事はとても難しいですが、達成した時は嬉しくやりがいがあります。自信がついてきた私はある日、指示されていない作業を勝手にしていました。するとリーダーさんに厳しい口調で、「一つの作業が終わったら報告すること！私たちは組織で仕事をしているのだから個人が自分の判断で動くとお客様に迷惑が掛かったらどう責任を取るのですか？報連相の重要性が分かっていますね。」と指導されました。「報連相」という言葉を調べてみると、情報を共有して作業の効率を上げたり、相談することで個人の成長につながるということがわかりました。「知ってるつもりはダメ」「報告・連絡・相談」これらは私の人生にも活かせるものだと思います。

組合の先生方やリーダーさんをはじめたくさんの方に支えられて一年が過ぎました。これからもいろんな経験をして私自身大きく成長したいと思います。そしていつか故郷に胸を張って帰省の報告ができることを夢見て頑張ります。

受賞の喜び



潘 宇桐

国 籍 中国
職 種 電子機器組立て
実 習 実 施 者 旭電器工業株式会社
監 理 団 体 ELC事業協同組合

この度は優秀賞を頂けること本当にありがとうございました。いつも熱心に指導してくれる皆様に感謝いたします。

この栄誉を頂く過程で多くの方が私を助けてくれました。それは、当コンクールに応募する様、後押ししてくれたり、どんな題材にするかも相談にのってくれたり、一生懸命書いた作文を丁寧な字で書き直す様、指示された事もありました。その時は心が折れそうでしたが今はその苦勞が報われて達成感で溢れています。そしてこの栄誉は私だけではなく、私を助けてくれた全ての方のものだと思います。

これからも技能を高める為、色々な事に挑戦します。勿論、日本語をもっと勉強してN1に合格します。まだまだ日本での生活は続きます。目標に向かって邁進するのはもちろんですが、日本の生活も満喫してゆきたいと思います。ありがとうございました。

指導員のことば

潘さん受賞おめでとうございます。今回の作品が多くの方に認められ栄えある賞を頂いた事、心から喜ばしく思っております。

いつも前向きで笑顔を絶やさず、旺盛な向上心を持って実習に取組み自分のスキルにしてゆく姿は他の実習生に良い刺激を与えてくれています。又、職場にきて1年半、誰とでも親しく接している姿は日本語をしっかりと勉強していることに加えて、皆と仲良くしたいという純粋な気持ちが大きく、それはとても素晴らしいものであり、私達も見習うべき点であると感じます。

まだまだ伸び代が君にはあると思います。限界を決めずどこまでも上昇していくその姿を私達に見せてほしいと思います。

旭電器工業株式会社 製造部 水谷 徳之